

か が はん
加賀藩の
 だいみょう
大名行列

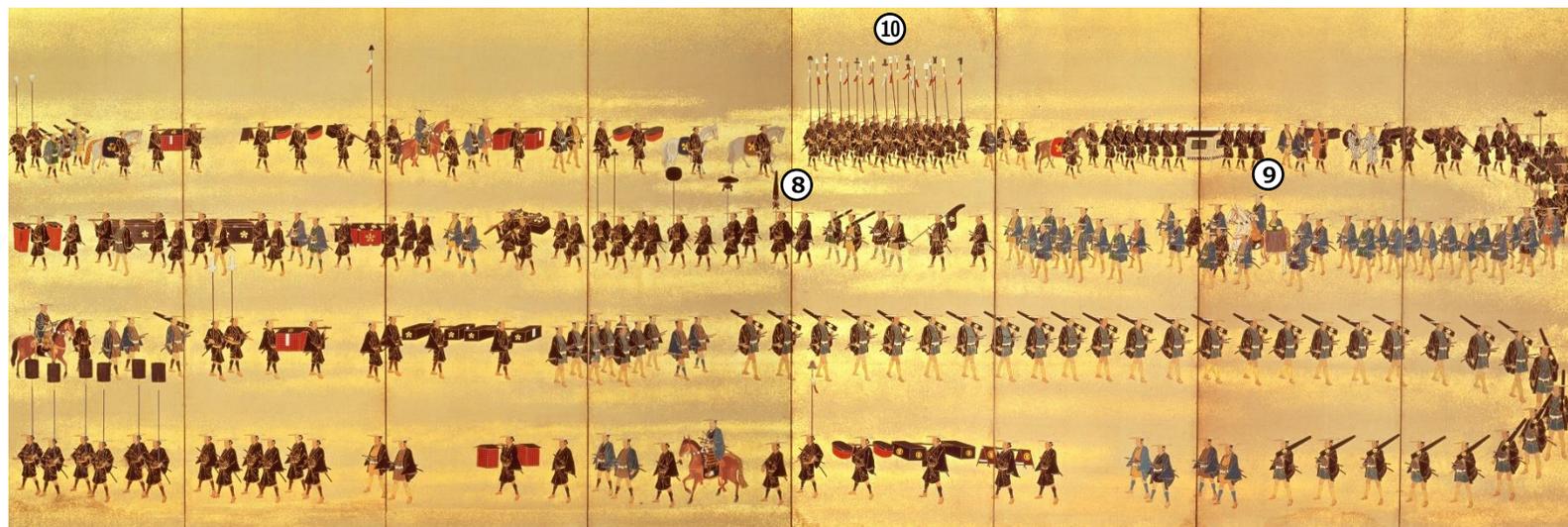
大名たちには、1年おきに、自分たちの領地と江戸^{えど}を行き来する、参勤交代^{さんきんこうたい}が義務づけられていました。参勤交代の行列の様子について、絵から読み取ってみましょう。

- ① 村役人^{むらやくにん}が次の宿場^{しゆくば}まで先導^{せんどう}する
- ② 鳥の毛でかざったやり
- ③ 鉄砲^{てっぽう}
- ④ 藩主の衣類^{ふんぬ}などが入った箱
- ⑤ 弓



絵にえがかれた加賀藩の場合は、2000～4000名が行列に参加しました。江戸に向けて出発するまでの準備に40～50日ほどかかり、金沢から江戸までは12泊13日かかりました。加賀藩は、中山道^{なかせんどう}などを通して江戸に向かいましたが、多くの藩が利用する東海道^{とうかいどう}では、宿の手配も大変で、およそ半年前から宿泊場所^{しゆくばく}をおさえる必要があったそうです。また、宿を手配したあとも、宿泊者のわりふり、旅費や日当などの計算、隊列の構成やそれぞれの役割分担^{やくわりぶんたん}など、多くのことを決めなければなりませんでした。

- ⑥ 矢の入った箱
- ⑦ 医師が乗るかご
- ⑧ かさ
- ⑨ 藩主
- ⑩ 行列の目印となるやり



「加賀藩大名行列図屏風^{まびょうぶ}」(石川^{いしかわ}県立歴史博物館^{そう}蔵)